



## 若者の定住と働き方を考える 地域円卓会議 in 金武町

ギンバル地区への投資を、  
地域の若者の継続的な雇用につなげるには

### 実施報告書

- 日 時： 2017 年 12 月 21 日（木）18:30-21:00  
場 所： 金武町役場 会議室（沖縄県国頭郡金武町字金武 1 番地）  
主 催： 公立大学法人 名桜大学 地域連携機構  
国立大学法人 琉球大学 地域連携推進機構  
協 力： 公益財団法人みらいファンド沖縄、NPO 法人まちなか研究所わくわく

報告書作成  
NPO 法人まちなか研究所わくわく  
公益財団法人みらいファンド沖縄

# ACTIVITY REPORT

## 【報告】若者の定住と働き方を考える 地域円卓会議 in 金武町



- 日 時：2017年12月21日（木）18:30-21:00
- 場 所：金武町役場 会議室
- 着席者数：7名（論点提供者、司会、記録者含む）
- 来場者数：24名（行政・NPO・福祉機関・企業）

- 主 催：公立大学法人 名桜大学 地域連携機構  
国立大学法人 琉球大学 地域連携推進機構
- 協 力：公益財団法人みらいファンド沖縄  
NPO 法人まちなか研究所わくわく
- お問合せ：NPO 法人まちなか研究所わくわく

### 論点提供 安富祖 匠 氏（金武町役場 基地跡地推進課 事業開発係長）

#### ギンバル地区への投資を、 地域の若者の継続的な雇用につなげるには

金武町では、平成 23 年にギンバル訓練場（60ha）が返還され、その跡地を自然の活用、ウェルネスの里をテーマに開発を進めている。近年、観光業を中心に県内の雇用状況は良くなっており、若者雇用の牽引をしている。反面、観光業は 10 年後、20 年後のキャリア設計がたてにくく、持続可能な職場環境を目指す議論がされている。金武町は、佐喜眞義肢などの最先端の技術を持った会社を当地域に誘致し、沖縄の温暖な気候も活かした、療養としての観光、ウェルネス・スポーツツーリズムを活かした観光を進めている。そこで、今回の円卓会議では、大学から輩出される、観光+α の能力を持った人材の技能を当地域と組み合わせ、持続可能な働き先につなげる議論をします。

#### センターメンバー



安富祖 匠  
金武町役場  
基地跡地推進課  
事業開発係長



遠矢 英憲  
名桜大学  
人間健康学部  
スポーツ健康学科  
上級准教授



佐喜眞 保  
株式会社  
佐喜眞義肢  
代表取締役社長



宜志富 司  
金武町中川区  
区長



梅原 奈々美  
名桜大学  
人間健康学部  
看護学科  
4 年次

## ➤ 円卓会議に参加いただいた皆さんから

### 事実の提供

- 金武町の特徴
  - ✓ 町土の約 56%が米軍基地（キャンプ・ハンセン）
  - ✓ 年少人口（0～14歳） 17.5%（県平均 17.4%）
  - ✓ 生産人口（15～64歳） 57.3%（県平均 62.9%）
  - ✓ 老年人口（65歳～） 25.2%（県平均 19.6%）
  - ✓ 全人口 11,506人（2017年）。ギンバル訓練跡地利用での社会的増加と出生率を 2.17 から 2.35 に向上させた自然的増加により、2060年目標人口 12,000人
  - ✓ 一世帯あたりの人口は 2.19人で（那覇市は 2.07）、毎年減少している
  - ✓ 国立社会保障・人口問題研究所の統計では、2025年頃が人口のピークで、その後は減少の予測
  - ✓ 農業は田芋が有名で、他には、さとうきび、マンゴー、パイン、お茶、柿など。漁業では、海ぶどうやもずく、養鰻場。畜産では乳牛や豚、鳥。県内でもこれだけ揃っているのは珍しい
  - ✓ 平成 26年度 1人あたり町民所得：2,038千円（県内で 24位、県平均：2,129千円）（以降、平成を H と記載）
  - ✓ H27年度の産業構造は、1次産業 512人、2次産業 764人、3次産業 3,318人（タコライスが有名）
- ギンバル地区（広さ：60.2ha）
  - ✓ ギンバル訓練場（海兵隊）は、ミサイル基地があった
  - ✓ H8年の日米特別行動委員会（SACO）合意で返還が決まった（正式返還：H23年7月）
  - ✓ 返還後に、沖縄米軍基地所在市町村活性化特別事業を活用して「田園と海と川を活かしたウェルネスの里」をテーマに整備してきた。また、北部振興事業や一括交付金を活用するなど、複数の予算を組み合わせ、現在進行形で開発している地域
  - ✓ 土地の主な所有者は金武町と並里区自治会で、個人の所有地は少ないため開発しやすい地域。金武町が土地を借りて開発している
  - ✓ 行政区は中川区。中川区は並里区から分離した地域
- 中川区
  - ✓ 元々は並里区のぎんばる組であった。人口 900名。金武町の 5区の中で一番小さい地域で、土地の 3分の 1程度がギンバルの開発地域になる
  - ✓ 青年会など若い人が元気で、エイサーなどの地域の活動をよく行っている
  - ✓ 以前は、軍道が子どもたちの通学路でもあり、歩道が無かったが、返還されて歩道が整備され、地域の人も安心している
  - ✓ 現在の 40代世代は、県外に出稼ぎに行き、30代で戻ってきた。今の若い年代は、県内での仕事が多い
- ギンバル地区に新設された施設
  - ✓ 地域医療施設（KIN 放射線治療・健診クリニック）開始：H28年1月。雇用人数 27名。内科、放射線科、婦人科健診など、地域住民の健康維持や病気の早期発見を基盤とした医療を行う
  - ✓ ヘルスケアセンター（金武リハビリテーションクリニック）開始：H26年4月。雇用人数 34名。整形外科とトレーニング施設が同じ施設内で運営されている
  - ✓ フィットニングセンター（（株）佐喜真義肢）開始：H26年4月。雇用人数 15名。義肢・装具の製作
  - ✓ 海洋療法児童リハビリセンター（発達支援センターぎんばるの海）開始：H26年4月。雇用人数 14名。3～18歳の児童を対象に海を活用した発達支援を行う
  - ✓ 金武町ベースボールスタジアム（H23年12月完成）。H30年より正式に東北楽天ゴールデンイーグルスのキャンプ地となった。また、韓国の KIA タイガースなどのプロチームが使用すると、宣伝しなくても、社会人や大学が合宿に来る。キャンプでの使用料は 1日 1万円程度。プロの方は恩納村のホテルに、大学や社会人はネイチャーみらい館に宿泊する
  - ✓ KIN フットボールセンター（H27年1月完成）。浦和レッズや女子の高校サッカーが使用している
- ギンバル海岸整備関連事業（完成予定：H32～33年）。ビーチをつくる海岸環境整備事業（沖縄県）、ギンバル海浜公園整備事業、町道中川 36号線整備事業、3つの事業を一体的に整備していく予定
- 金武町ギンバル温泉（湧出量：400L/毎分、温度：34℃）を元に、総合保健福祉センターと町内の 5区の公民館に足湯を設置。公民館は、子どもから高齢者まで利用しているため、町民の憩いと世代間交流の場となっている。民設民営による温泉施設を整備するために、運営事業者を公募中
- リゾート開発：金武町が土地をマレーシアの企業に、約 16ha を貸している。最初の地代は無償で、後から地代をとる予定。800億円の民間投資が入る
- 名桜大学学生の出身割合は県内：県外＝1：1の割合。北部出身者は 15%、中南部、離島出身者は 35%。就職先は県内外様々である
- （株）佐喜真義肢
  - ✓ スポーツ関連会社と新しいスポーツ装具の開発など、健康な人でもつけると楽になる装具を開発している
  - ✓ 求める人材：①ものづくり、製造技術者、②言語力（海外展開あり）、③ハイテクを扱える、若い頭脳。現在、職員を増やさないといけない状況

## 評価の提供

- 現在のギンバル地区は、人工的環境に寄った開発をしている印象である
- 金武町内での職場は、ネイチャーみらい館や建設業などで、そんなに多くない。ホテル等が開業すれば地域の雇用が増えると、期待している

## 視点の提供

- ギンバルで金武町の若者が働けるようになるのが一番よい。基地だった時より豊かになることを目指している
- 学生の地域でのフィールドワークを雇用につなげる
  - ✓ Total Win 「3方良し」：全てのステークホルダーの満足度向上を目指す（例：学生は、教育活動の一環として地域でのフィールドワークをしている。ただイベントの動員をするのではなく、教育的配慮をする）
  - ✓ 多面的な視点：世界の一員として、日本、アジア、世界にこの地域がどんな貢献ができるかの視点で、地域の課題を勉強すると、どこにでもあるコピー物にならない。また、人工物はコピーできるが、自然や文化はコピーできない。だから、競争した時に勝てる。世界中でこの地域しか果たせない役割は何か？その役割を果たすことを通じて地域の課題を解決できないか？と考えるべき
  - ✓ 継続的な取り組み：何をもって成功とするのか？ビジョンを関係者で共有できていないと、それぞれが違う方向性に向き、全体が完成した時に、何を目的に作られたか分からなくなる
- 沖縄県の文化観光協会がだしている、観光要覧をみると、観光者は、1回目は観光地（例：首里城など）に行くが、2回目以降はマリンスポーツが増えてくる（例：バナナボートや海水浴等の初心者向け）。5～20回目の方は、スキューバダイビングを行う。観光地などは、飽きてくるが、アウトドアは、人間が自然に合わせて技術を向上させる必要があるため、自然環境は飽きず、何回も行きたくなる。そういう方々が沖縄にリピーターとして来てくれている。ターゲットをどこに合わせるかが大切
- 健康という言葉は、西洋の概念で明治期に入ってきた。病気やケガを取り除くという解釈。ウェルネスの概念は、今の状態をより良く、より輝く人生をおくること
- 人工環境はよりお金をかけた方が勝つ。また、新しいことを常に打ち出し続けたいといけない。作ってお終いとはならない
- 自然環境はほっといても変化する。ただし、能力がないと見えない、味わえない。人がインタープリターとして解説したり、初心者向けに歩きやすいようにする等、味わいやすい仕組みを作っておかなくてはならない
- ウェルネスツーリズム（楽しみの要素）とメディカルツーリズム（医療的な要素）の概念を関係者で共有して、ターゲットをどう定めるかを議論しなくてはならない。また、ツーリズムも世界中の人が競争相手となる事を意識する
- ウェルネス・スポーツツーリズムや地域医療は地域連携が大切になると言われており、地域を巻き込んだ事業開発をすると、もっと高齢者や地域の若者、生産年齢の若者を巻き込んで、町全体で活性化できると感じた
- 技能を持った人たちが、観光業と繋がっていく。これが成功するためには、社会が急速に変わっている事を前提とし、世界中の人達とチームを組んで色んなことを行う。昔は、1人の天才がけん引してきたが、今は、違う分野のスペシャリストでチームを組むことで、新たなサービスが生まれてくる
- 今後、単純作業の仕事はAIに取られる。何を人間が生み出すべきか、先回りして考える必要がある
- 高齢者でヒザを痛め、ゴルフができなくなった人が、佐喜眞義肢の装具を付けて、またできるようになった。そのことが口コミで広がっている。高齢者スポーツ関係に事業を広げたら良いかと考えている
- 佐喜眞義肢や遠矢先生、観光、県内の医療と組んで、沖縄に来て、健康になって帰れるような、ウェルネス・メディカルツアーの1つの形を作れるのでは

## ➤ 今後のアプローチの方向性（提案）

- 町で考えているギンバル開発のビジョンを町民にしっかり共有し、協働できる体制をつくる
- 地域の自然・人材を活かした金武町ならではの国際競争力のあるサービス開発を行う
- 様々な情報提供や地域と学生のコーディネート等、様々な役割が大学に期待される

## ■参加者によるサブセッション

### 「ギンバル地区への投資を、 地域の若者の継続的な雇用につなげるには」(原文のまま)

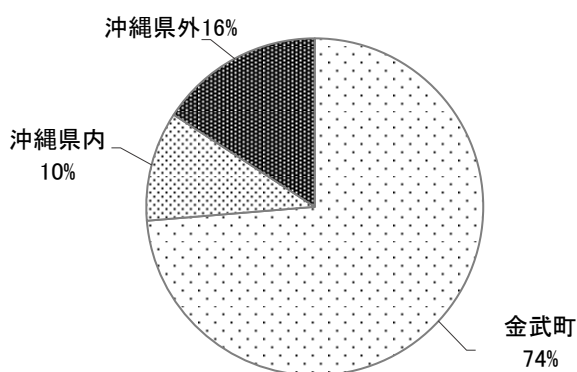
- ①・給料 up バイトじゃ意味なし
  - ・医療施設は発展してきたが、人が健診していない。もう1つ医療の柱をつくってみては(アレルギー専門等)
  - ・金武町に医療を受けに来る体制
  - ・スポーツ合宿で選手たちが使いやすいホテルの建設(楽天・浦和・東農大・KiA)
  - ・高齢者ができる環境づくり貧困家庭
- ② マリンスポーツ資源の可能性  
自然のもつポテンシャル
  - ・沖縄の人が魅力を知らない
  - ・泳げない人多い
  - ・海の指導者を育成
  - ・利用者の視点(サービスを知る)
  - ・働く人が仕事を知ることの良い仕事ができ、新たな仕事が出来雇用が発達する
  - ・エキスパートだけではなく、市町村で連携していく
  - ・連携を密にする
  - ・ジグソーパズルのようにお互いの市町村が足りないところを補うように連携する。
  - ・産学官連携
- ③ 学校
  - ・他生徒との行動が変わっていくことをいち早くキャッチできる場所
  - ・民生に地域をくまなく見回りをしていく
  - ・就学支援・申請等を手伝えるしくみ
  - ・マイナンバーで申請  
(就学援助、手続きの簡素化)
- ④ 地域と地域活動を通じてつながることで金武町への愛着をもち金武町で仕事を探す。
- ⑤・第一産業に力を入れたい！  
⇒農業に興味のある人を集める
  - ・バーベキューテラス！
- ⑥・地域の民間の要望にみあった人材育成
  - ・投資のサイクル
  - 自己努力 行政(町)としての取り組み・子どもを受け入れる側の情報共有
- ⑦・仕事があればもどりたい(役場しかない！)
  - ・金武町 教育がいい！ 子育てするなら…
  - ・ホテルしてるホントにできるの？
  - ・佐喜眞さん 金武町で採用(したい！)
  - ・PTOT 事務職製造

## 若者の定住と働きを考える地域円卓会議 in 金武町 参加者アンケート集計

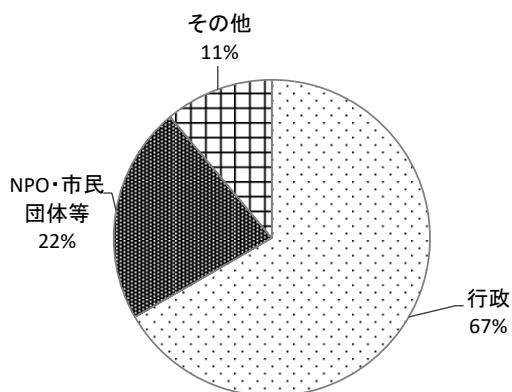
### ◆概要

- ・日時：2017年12月21日(木) 18:30-21:00
- ・場所：金武町役場 会議室
- ・着席者：7名(論点提供者、司会、記録者含む)
- ・参加者：24名(アンケート回収19名、回収率79%)

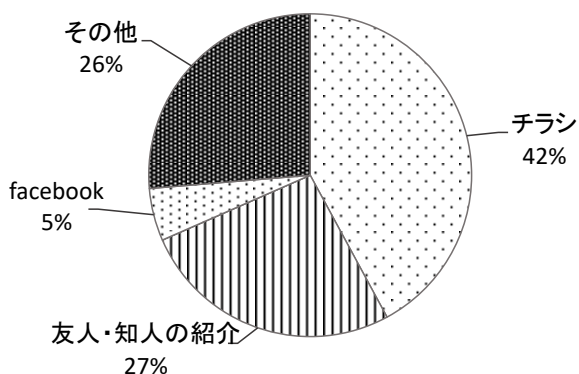
### 1. どちらから？



### 2. 所属



### 3. 円卓会議はどのように知ったか



### 4. 満足度

平均：4.5 (5点中)

5.満足	4.概ね満足	3.ふつう	2.あまり満足していない	1.不満足
10名	9名	0名	0名	0名

### 5. 満足度の理由

#### (5. 満足)

- ・ 町民まじえてギンバル地区のことが共有できたことがよかった。
- ・ 地域の皆さんと日頃は出来ない話が出来て、認識が深まりました。
- ・ 金武町の事で知らないことを知ることができて勉強になった
- ・ 雇用に対する新たな視点に気が付けました。
- ・ 色々な視点からの話がきけてよかった。
- ・ 町が直面する課題に対して、様々な角度から意見が出たことは素晴らしかった。
- ・ 将来の金武町のことを語るのが楽しかった。

#### (4. 概ね満足)

- ・ 色々な立場の方々の意見をもとに、アイデアが生まれて、それが活性化につながっていただければ良いと思います。
- ・ その地域の問題や現状など知れたので！
- ・ センターメンバーの名桜生の言葉に、地元のあり方や見方が非常に参考になった。
- ・ 会議をきっかけに私自身考えさせられたし、学んだことを広めたいと思った。
- ・ 円卓会議・・・どの様な会議なのか知らずに興味本位で参加となりましたが、様々なテーマをほりさげた話が聞けてよかったです。
- ・ 様々な視点から、町での雇用に対する考え方や必要なことを考えることができた。又、求められる人材についても考えさせられた。
- ・ 課題に対していろんな意見を聞くことができた

- ・ 町が取り組んでいる課題をさまざまな分野・立場の方々から意見を聞くことができ知見が広がった
- ・ 健康とウェルネスの概念を学ぶことができた。
- ・ 後半ディスカッションの時間をもっと長くしてほしい。
- ・ 今後も町民レベルでこのような会議をやってほしい。

## 6. 印象に残ったこと

- ・ これだけの広い場所に新しいものを指導できるのは大きなチャンスですね。  
多くの方が訪れると思います。
- ・ グラレコがすごくわかりやすく、ふりかえるのにすごくいいなと思いました。
- ・ さいごに学生さんのお話であること、とてもいいと思いました。  
三人組でのセッション、本音が出て面白かったです。
- ・ ①ものづくりは人材が必要  
②複合検さく
- ・ まず、足を運び体験すること
- ・ 地域企業、産学官連携の可能性が示されたことがよかったと思います。
- ・ 行政・住民がどのような地域づくりを目指すのかを考えることが非常に重要。
- ・ 自然とスポーツの活用と推進
- ・ 自然環境を生かした観光づくり  
スポーツツーリズムと医療ツーリズムとの連合体をつくりあげる。
- ・ 言語よりもスポーツが世界に出ていける一つのツール
- ・ 各施設の連携を密にする。  
産学官の連携
- ・ 遠矢先生が話していた人工物は他地域のコピーができるが、自然や文化はそれができない（コピーできない）ので強みになる。  
時代を先回りした取組が必要。地域にしか生み出せない（気候や環境）サービスにヒントがある。

(写真) 会場の様子





# 若者の定住と働き方を考える①

## 地域円卓会議 in 金武町

2017.12.21(木)  
18:30~21:00  
会場 金武町役場

ギンバル地区への投資と、地域の若者の継続的な雇用につながるには

主催 名城大学、琉球大学  
協力 みらいふ木沖輝、まちなか研究所やわく

平良 安富祖  
梅原 遠矢  
宜志富 佐喜真

### 論点提供

#### ③ 安富祖 氏 (金武町長)

56% キャンプハンセン

0~15 17.5%  
15~65 57.3%  
65~ 25.2%

人口 11500人 → 12,000人  
2060年目標

出生率 2.17 → 2.35

2025 ピク→減少の予測  
一世帯 2.17人 (2017年時点)  
昼夜間 10,972 (昼間12%)  
1:2 512人 2:2 764人 3:2 3318人

町民所得 2,038千円 (県24位)

#### ② ギンバル地区

訓練場: ミサイル基地  
H8 SACO会舎  
H23.7 変遷  
シマコン事業と活用  
川海田園と生かす  
ウェルネスをテーマに投資  
開発がすすむ状況

60.2ha

所有地 自治会の上で  
自治会の上で

- 病院
- カピロ
- コンビニ
- 発達支援センター
- 野球場
- サッカー場

#### ④ 地域医療施設 雇用人数

- 予防かん 27名
- ヘルスケアセンター 整形外科・リハビリ 34名
- フットングセンター (任意で義務) 15名
- 発達支援センター 38~18才対象・海通所 児童発達センター 14名

5区字 公民館に足湯設置  
温泉は湧く 400リットル 34℃  
運営事業 公中  
世代間交流

#### ③ ベースボールスタジアム

拳天のゆうち決定 大学・高校の合宿  
与ナイター・公館へ宿泊

#### ② フットボールセンター

浦和レッズ  
女子高校サッカー

#### ① ピク・公園・道路

与公共投資 (H32~33年 予定)

#### ④ リゾート開発

800万円 (レンタル)  
1ハ5E ヒルトン

#### ③ 遠矢 先生 (名城大学)

人工環境  
自然環境  
健康  
ウエルネス

景外 景内  
地域ハルワグ

Win-Win → 3段階  
多面的な視点  
継続的な取り組み

ウエルネス  
ウエルネス  
ウエルネス

ウエルネス  
ウエルネス  
ウエルネス

#### ③ 佐喜真 氏

義肢 器具  
5つの用  
こうせ用  
地域医療  
コクマの人工知能  
義足  
運動  
リハビリ病院  
毛のびの技術者  
海外言語力

#### ⑤ 宜志富 氏 (副町長)

人口 900名  
新しい地域・若人元気  
なみさと区き人ばる組  
出かせ 300人  
市内では  
軍道 → 整備  
ホールの雇用人  
期待  
観光とくもて

高齢者  
ゴルフ  
高年齢者  
スポーツ

#### ③ 梅原 氏

小学校 13名/学年 だった  
就職 沖縄病院(宜野湾市)  
北部地域で医療活動した  
名城大学へ  
将来は北部 金武町で  
保健士になりたい。もててきた

4日目  
2日目  
5~10日  
人工環境  
自然環境

#### ③ 遠矢 氏

社会急速に  
かわっている  
世界中の人  
チームを  
開発している  
昔の天才  
今 遠矢分野  
スポンサー  
チームを  
新たな  
サービス  
よき全体が  
やさしいまち

#### AI

時代を  
先取りした  
とりかき要

人間は  
何に  
なれるか

自然

観光  
スポーツ

資本主義の原理  
あまくない

気候が温暖  
ケガ子  
プロスポーツマン  
へのサービス  
一般へのサービス  
への転換

地域の人  
まず体験  
してほしい  
働く場  
の作り直し  
ピンポイント  
おこなって  
いない

地域に  
対して  
対話  
は  
始ま  
っている

地域に  
対して  
対話  
は  
始ま  
っている

地域に  
対して  
対話  
は  
始ま  
っている

地域と地域活動を  
通じてつながること  
金武町への愛着を持ち  
金武町を以て仕事を探す。

- ・第一産業に力を入れる!!
- ↳ 農業に興味ある人を集める。
- ・バーベキューテラス!

地域の民間の要望にみあった  
人材育成

投資のサイクル  
自己努力  
行政(町)としての取り組み

仕事があつたら  
雇いたい  
後場い  
たい!

金武町  
教育がいい!!  
子育てできるから...

佐野さん  
金武町で  
採用!  
したい

PTO7  
事務科  
製造...

ホテル施設  
ホテにできる?

○エキスパートだけでなく  
市町村でも連携していく

○連携を密にする

○ジグソーパズルのように  
お互いの市町村が足りない  
ところを補うように連携する。

○産学官連携

- ・給料をUP ババジの意味なし
- ・医療施設は、発着して来たが、人が付か  
ない。もう1つ医療の柱を作ら  
ない。(アレルギー専門等)
- ・金武町に医療を受けにくい体制
- ・スポーツ会館で選手達を使わせ...  
ホテルの建設。(観光、温泉、温泉)
- ・高賃かゝるが、旅行できる。環境作り

マリンスポーツ資源の  
可能性

自然の村ポテンシャル

- ・沖縄の人か勢が強いこと  
知らず!!
- ・泳ぎが上手い
- ・海の指導者を育てる

利用者の視点(サ-ビ-2を以て)

・働く人が仕事を知ることが...仕事か  
てき、新しい仕事ができる。

雇甲が生まれる